

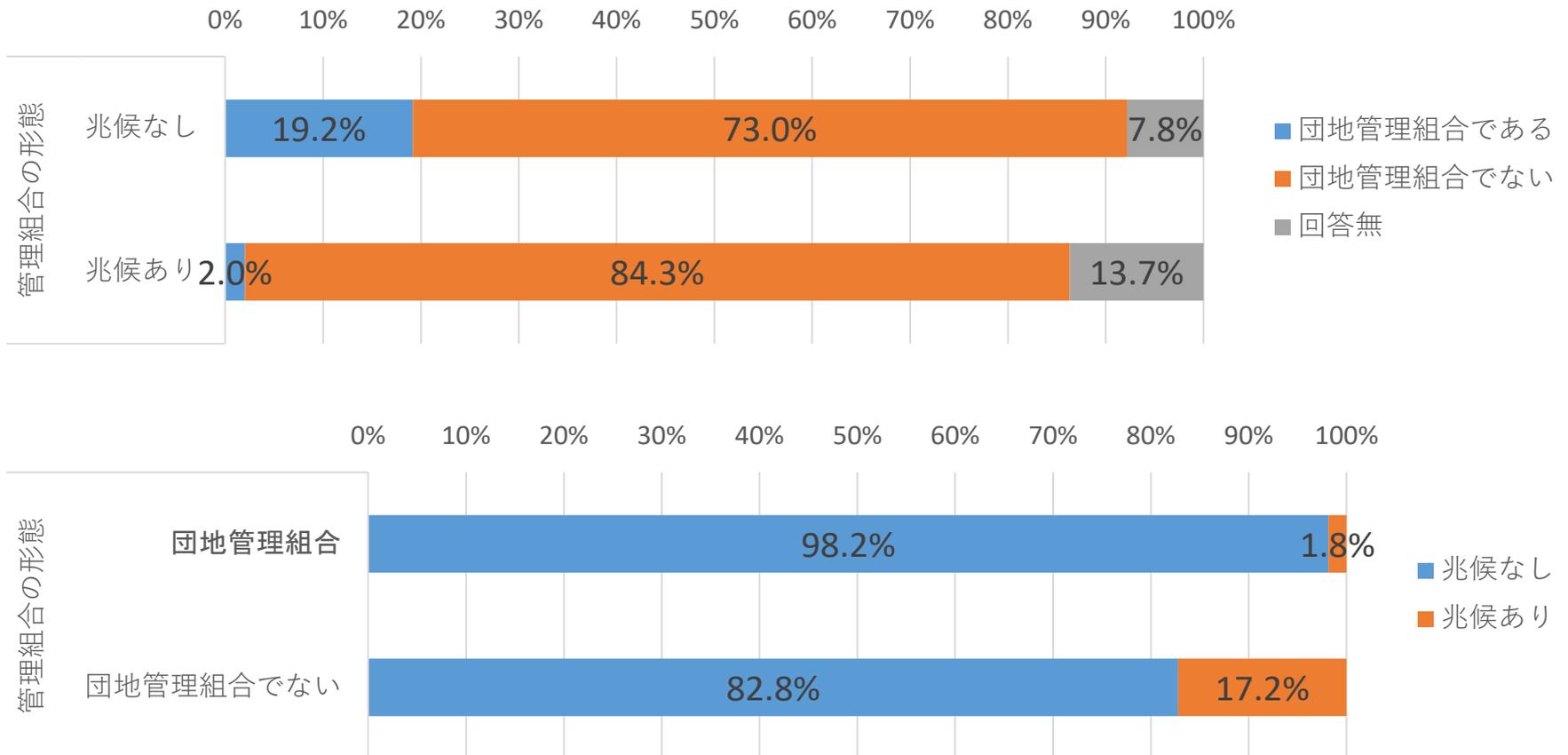
管理状況届出制度の状況（兆候別） （6 / 30時点）

- 届出マンションの概要【兆候別】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 管理不全を予防するための必須事項（7項目）【兆候あり】・・ 8
- 適正な維持管理に関する事項【兆候別】・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- マンションの社会的機能の向上に資する取組に関する事項【兆候別】・ 16
- 連絡先【兆候別】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

届出マンションの概要【兆候別】

- ・ 管理組合の形態について、兆候なしでは団地管理組合の割合が2割となっている一方、兆候ありでは2%にとどまる（兆候なし n=7,518 兆候あり n=1,353）。
- ・ 団地管理組合でないマンションは、兆候ありが17.2%である一方、団地管理組合では、1.8%にとどまる

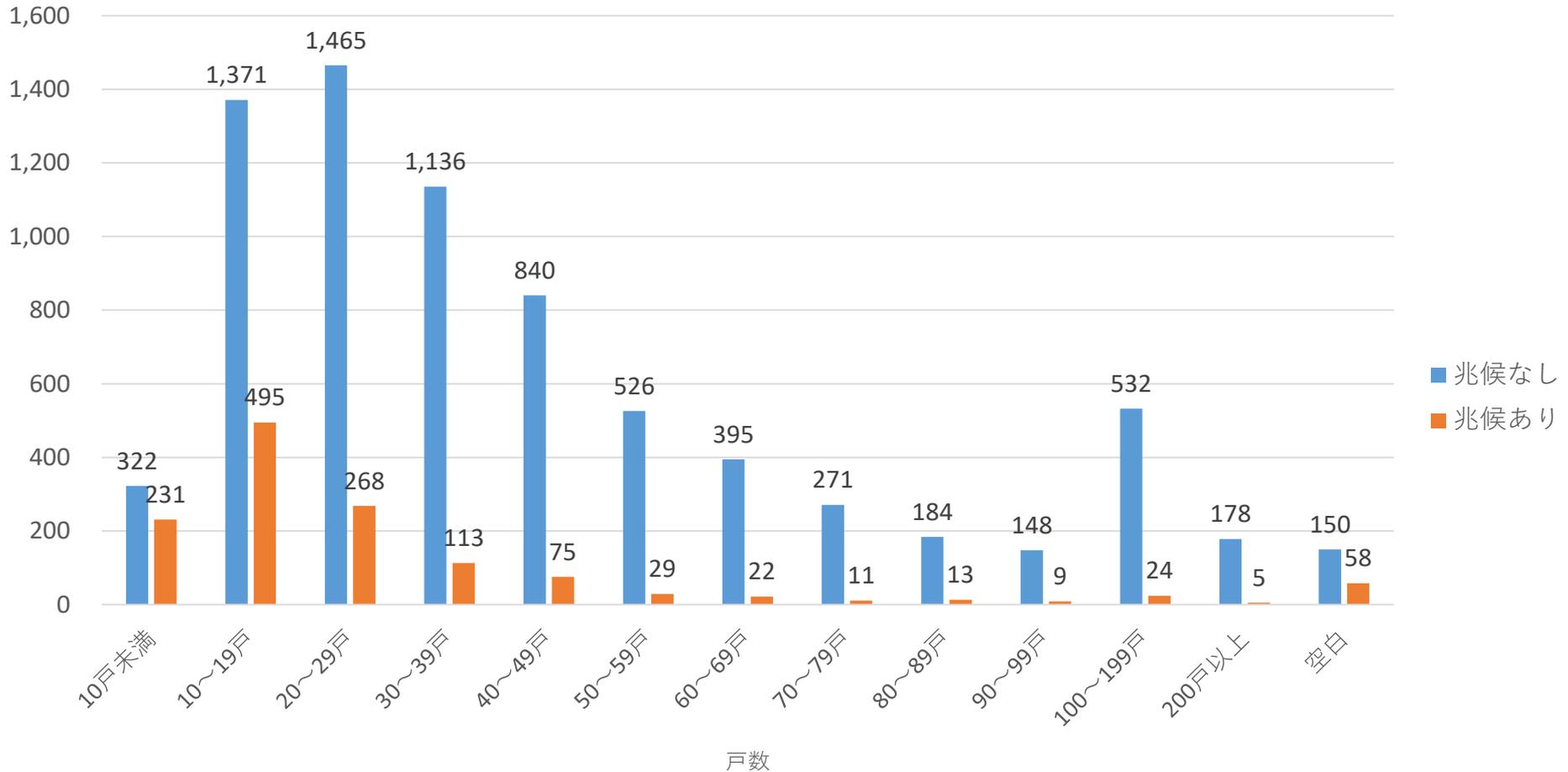
【管理組合の形態】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なし 平均 48.7戸/棟
- ・兆候あり 平均 25.3戸/棟

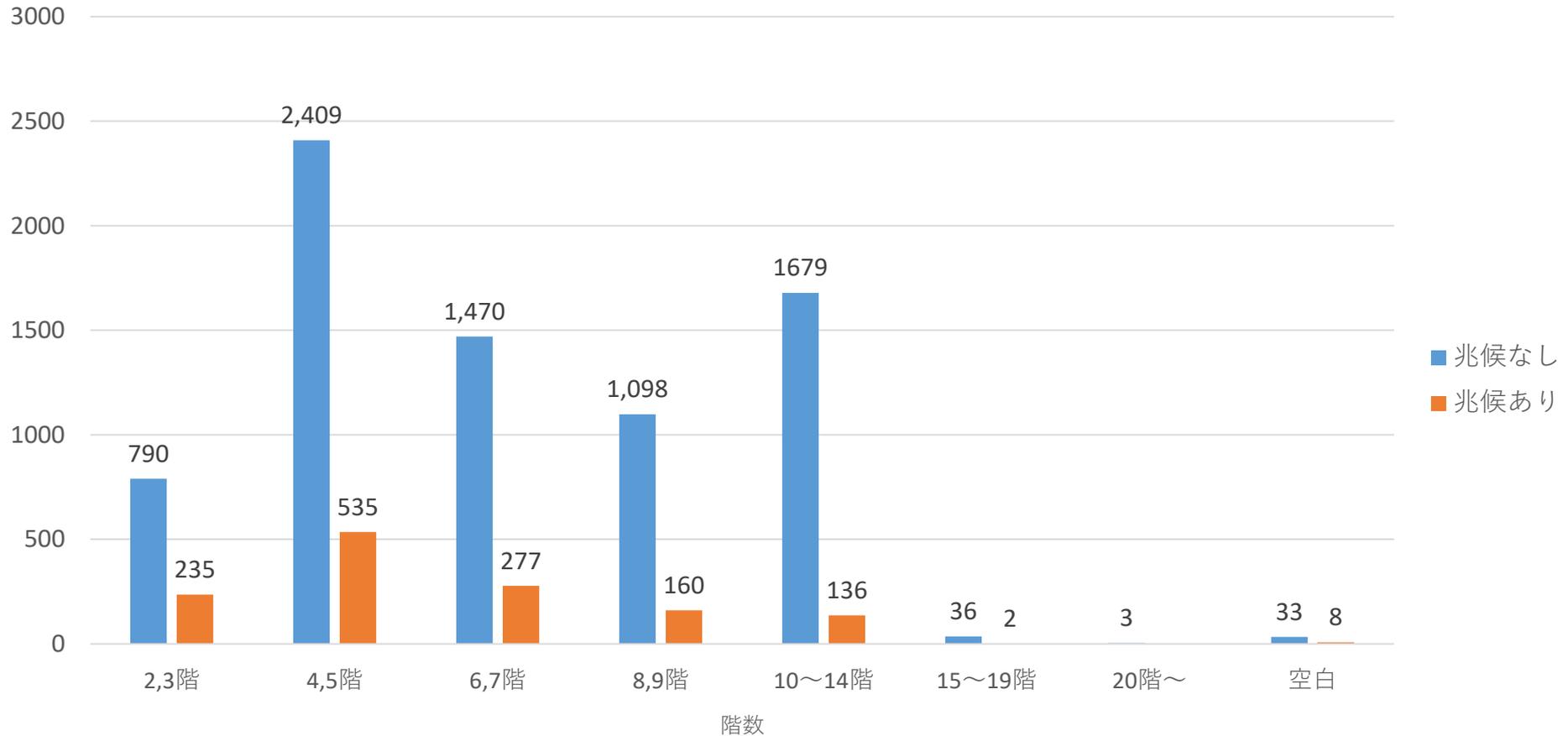
【戸数分布】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なし 平均 6.9階/棟
- ・兆候あり 平均 5.8階/棟

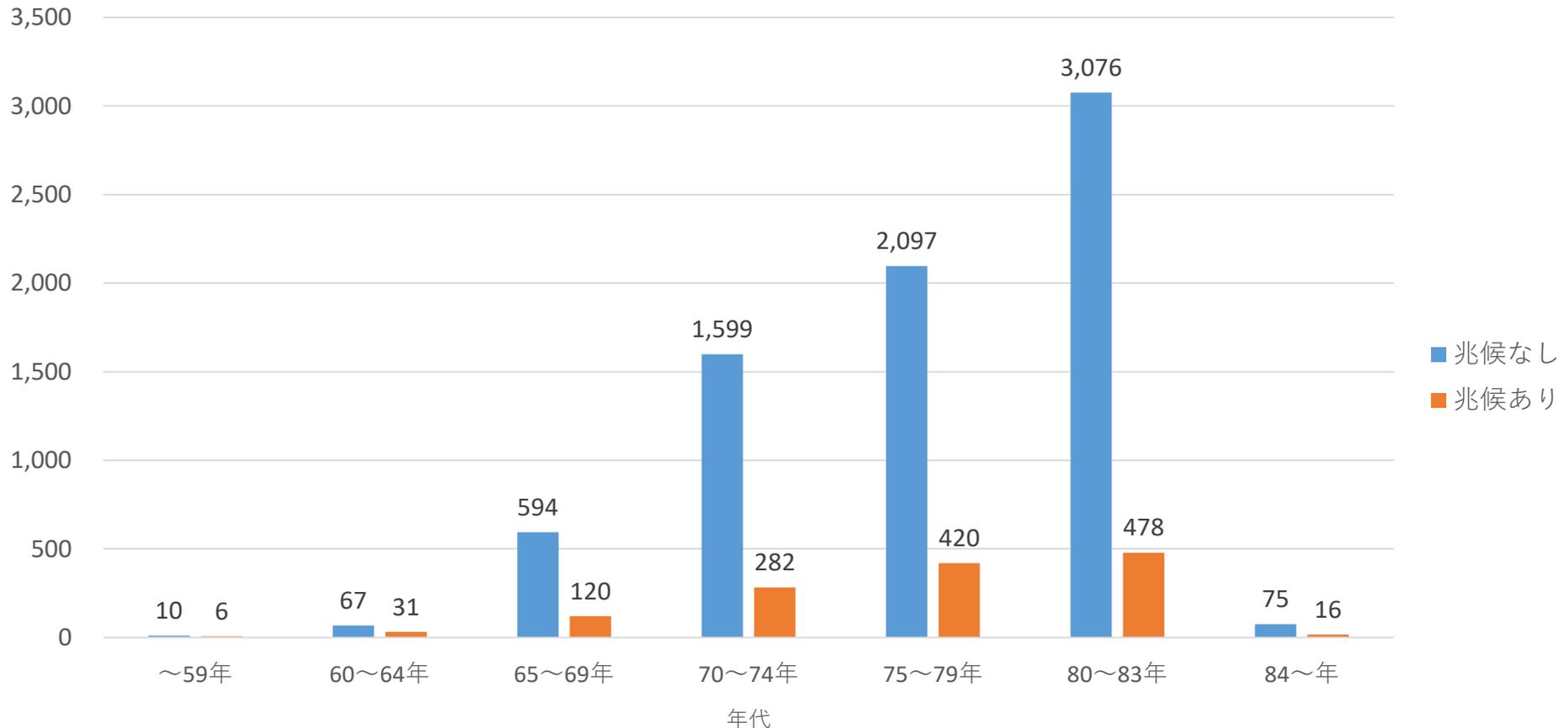
【階数分布】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なし 80～83年が40.9%と最も多い 75～79年は27.9% (n=7,518)
- ・兆候あり 80～83年が35.3%と最も多い 75～79年は31.0% (n=1,353)

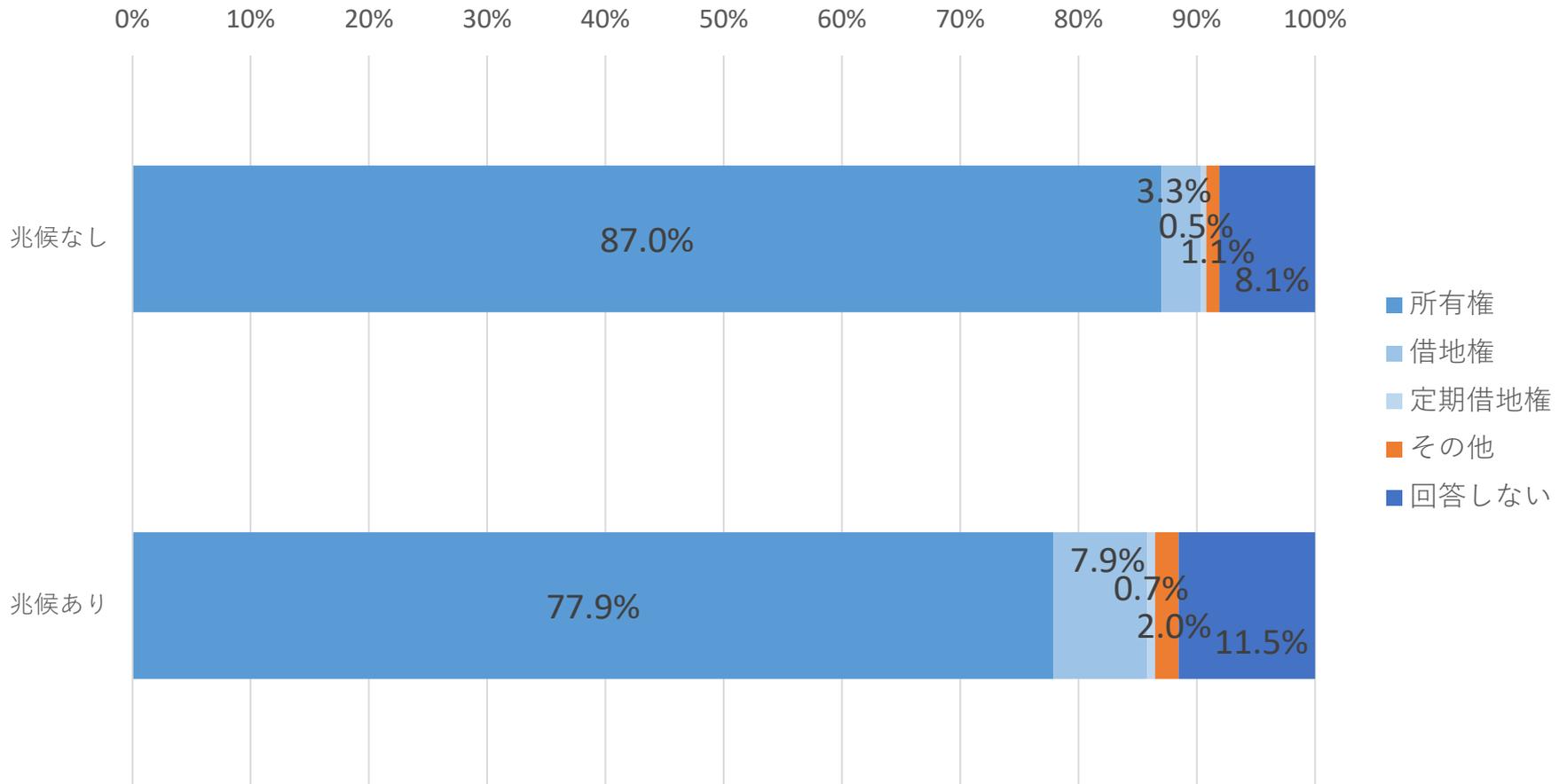
【建築年代別】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なしでは87.0%が所有権、借地権は3.3%
- ・兆候ありでは77.9%が所有権、借地権は7.9%

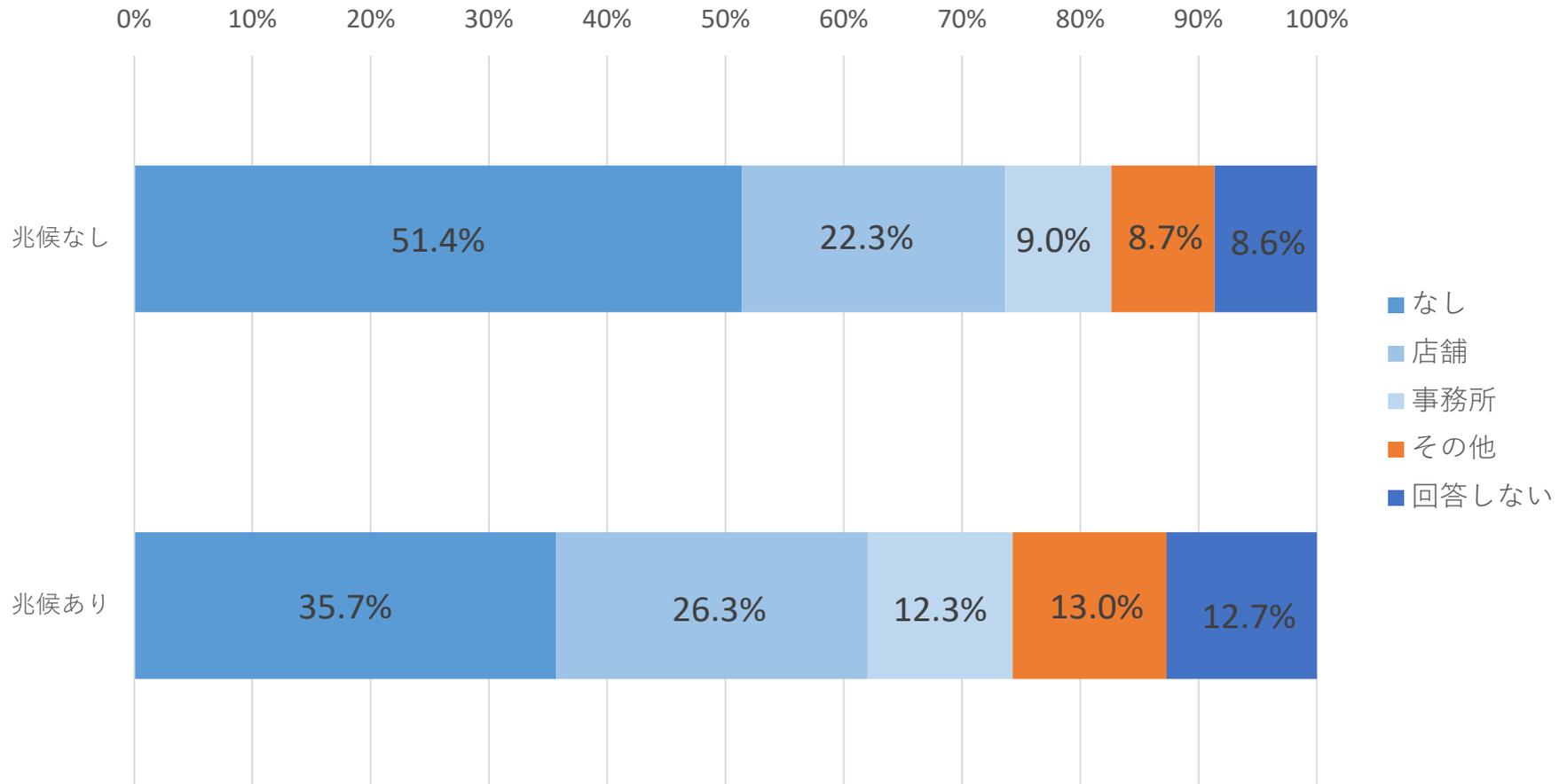
【土地の権利】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なしでは併設用途なしが51.4%、店舗が22.3%
- ・兆候ありでは併設用途なしが35.7%、店舗が26.3%

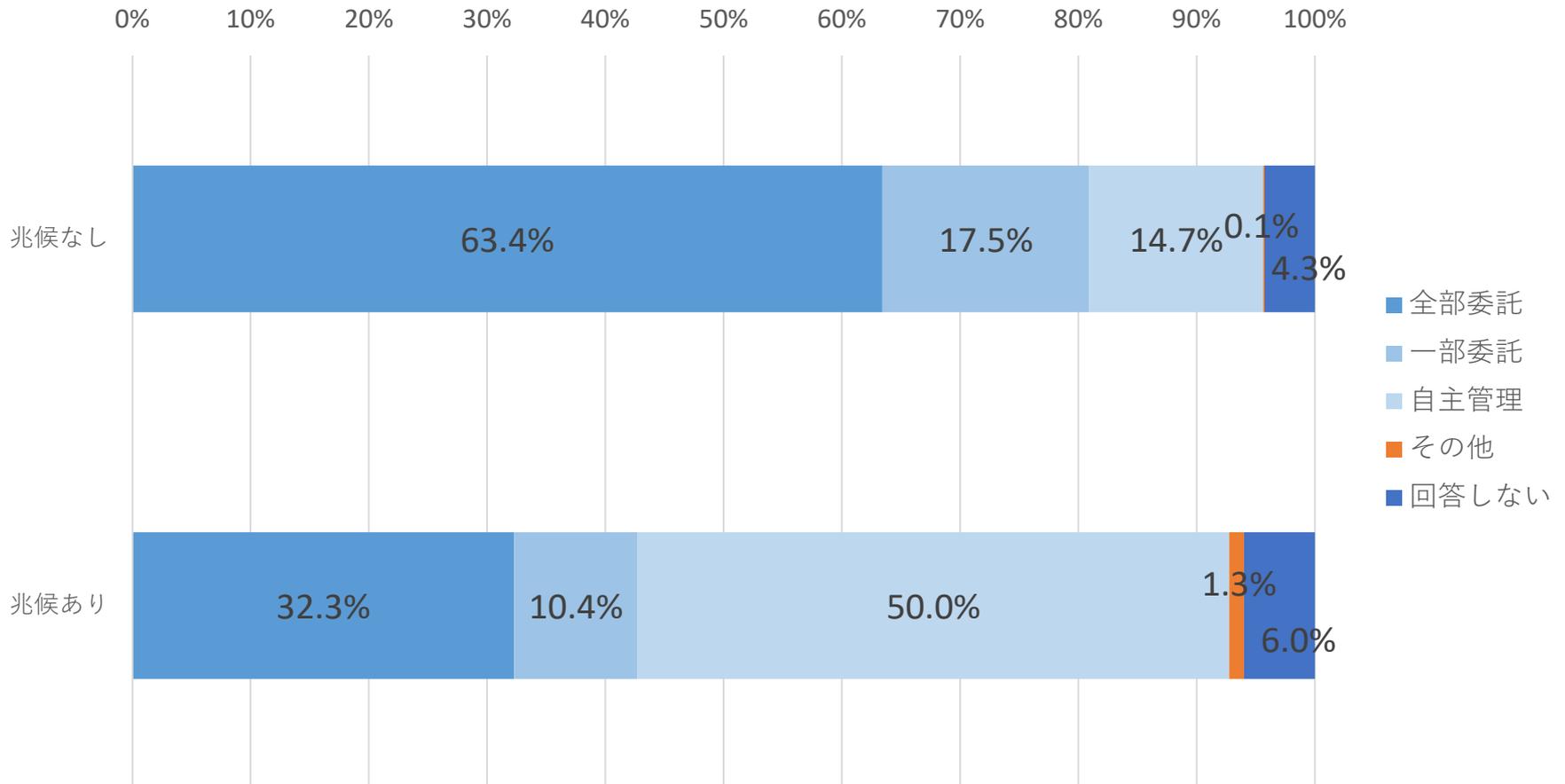
【併設用途】



届出マンションの概要【兆候別】

- ・兆候なしでは約6割で全部委託
- ・兆候ありでは約5割が自主管理で、全部委託は約3割

【管理形態】

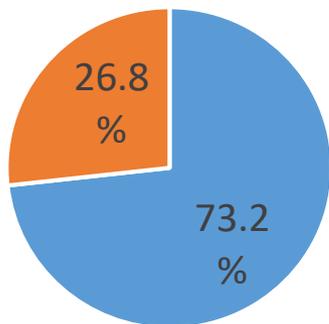


管理不全を予防するための必須事項（7項目）【兆候あり】

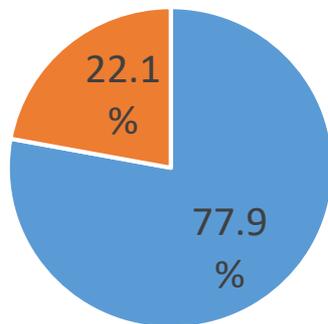
・管理不全を予防するための必須7項目のいずれかが無いと回答したマンションのうち、約6割が修繕を計画的に実施していないと回答、約3分の1が総会を年1回以上開催していないと回答。

n=1,385

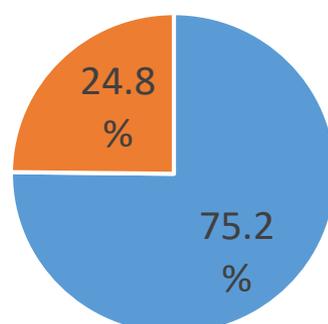
【管理組合の有無】



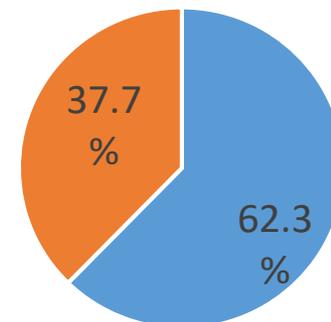
【管理者の有無】



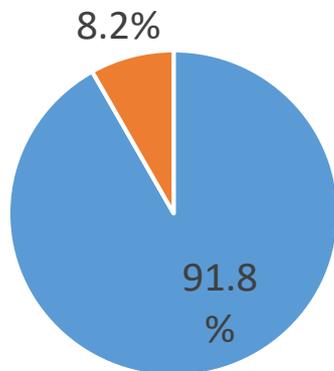
【管理規約の有無】



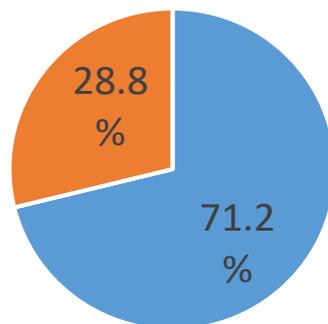
【総会開催の有無（年1回以上）】



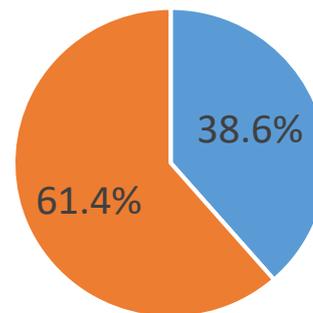
【管理費の有無】



【修繕積立金の有無】



【修繕の計画的な実施】

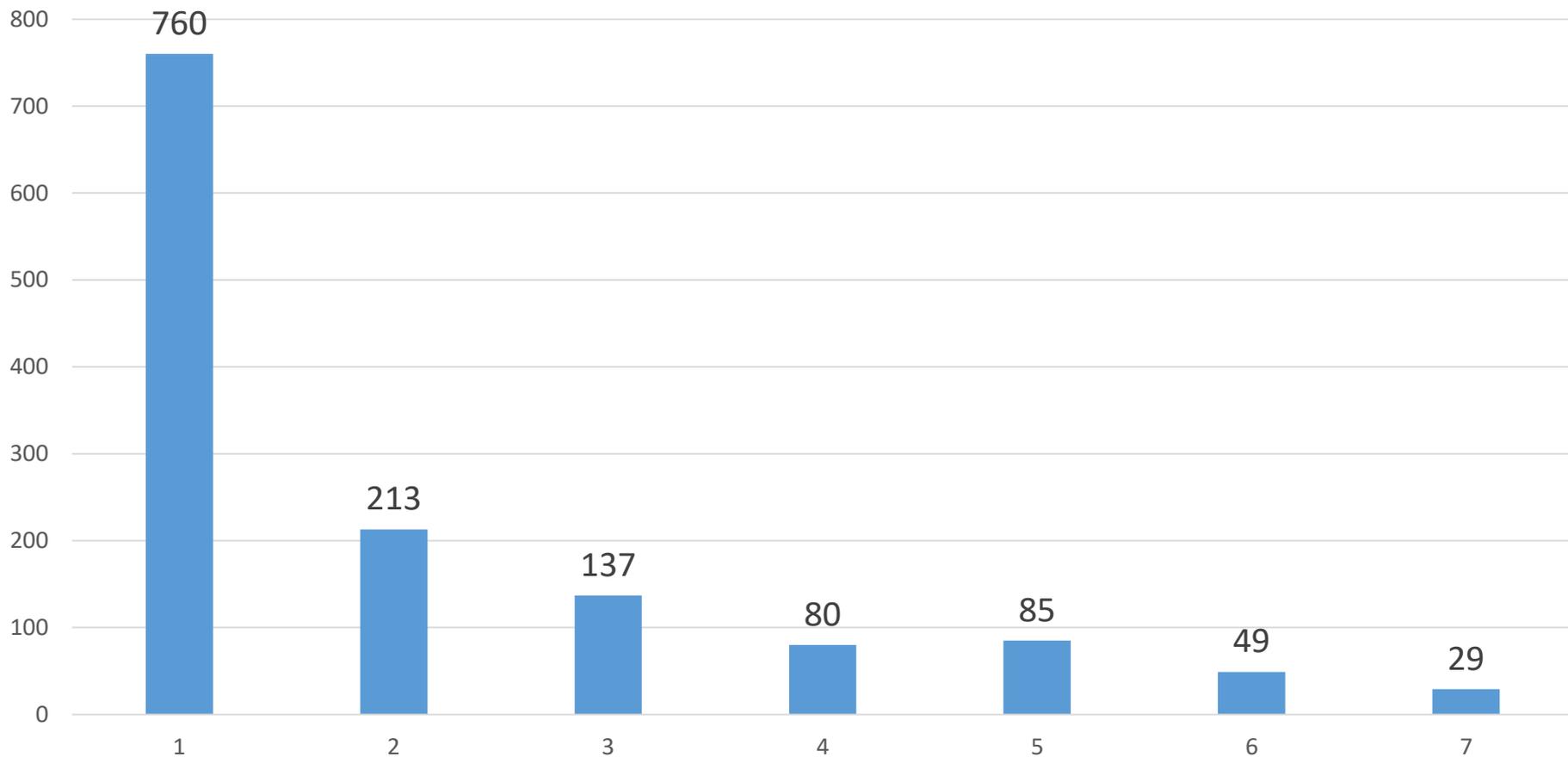


■ ある・いる
■ ない・いない

管理不全を予防するための必須事項（7項目）【兆候あり】

- ・ いずれかがない・いないと回答したマンション1, 353件のうち、
1項目がない・いないと回答したのは56. 2%
2項目がない・いないと回答したのは15. 7%

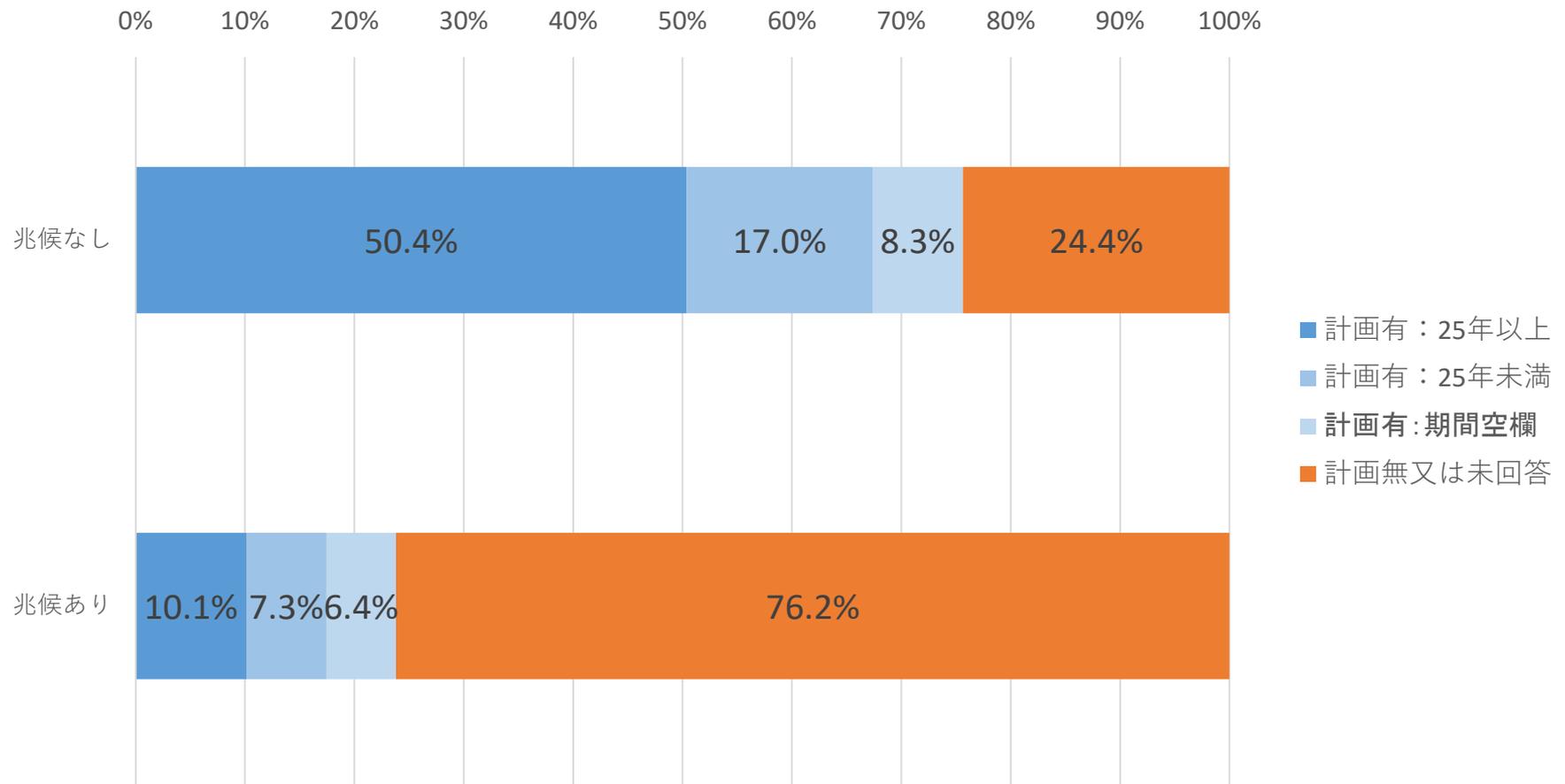
【届出必須事項未充足個数別棟数】



適正な維持管理に関する事項【兆候別】

- ・長期修繕計画があるマンションは兆候なしで75.6%に対し、兆候ありでは23.8%
- ・兆候ありでは、計画年数が25年以上あるものは1割程度にとどまっている。

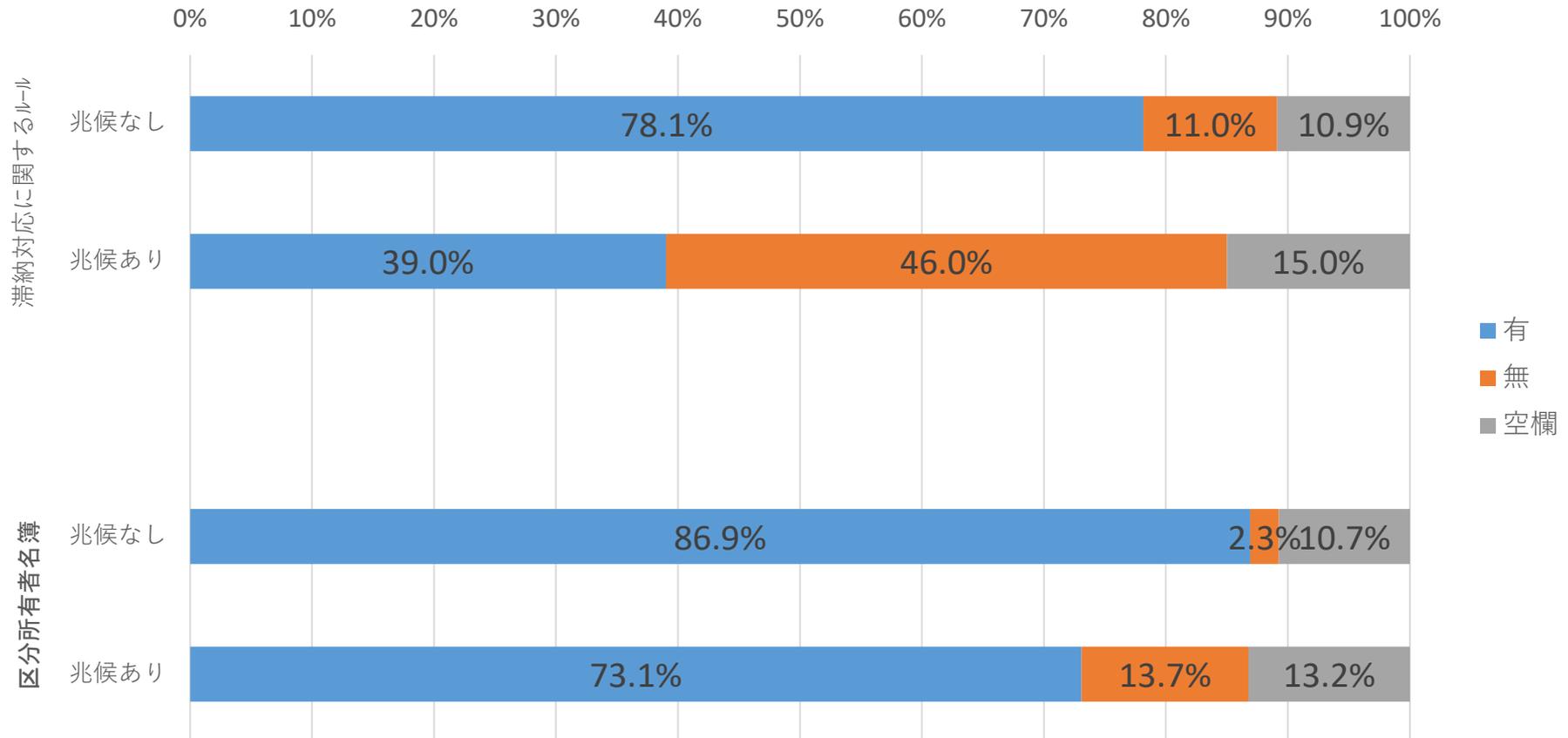
【長期修繕計画の状況】



適正な維持管理に関する事項【兆候別】

・滞納対応に関するルールが有と答えた割合は、兆候なしが兆候ありに比べ40ポイントほど高い

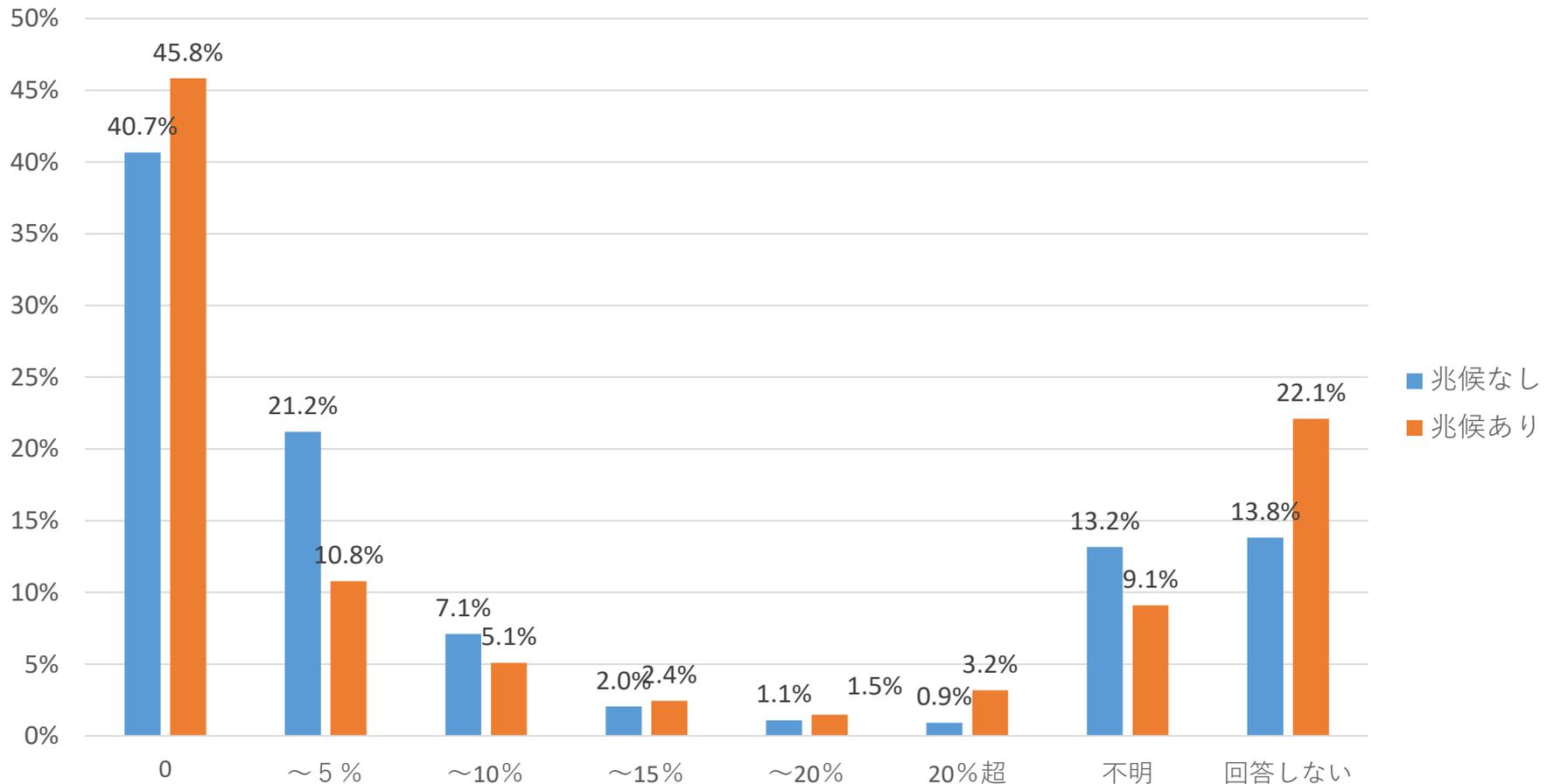
【滞納対応ルール、区分所有者名簿】



適正な維持管理に関する事項【兆候別】

- ・ 空き住戸が無い割合は、兆候ありのほうがポイントが高い。
- ・ 空き住戸割合～5%は、兆候なしが兆候ありに比べ10ポイントほど高い

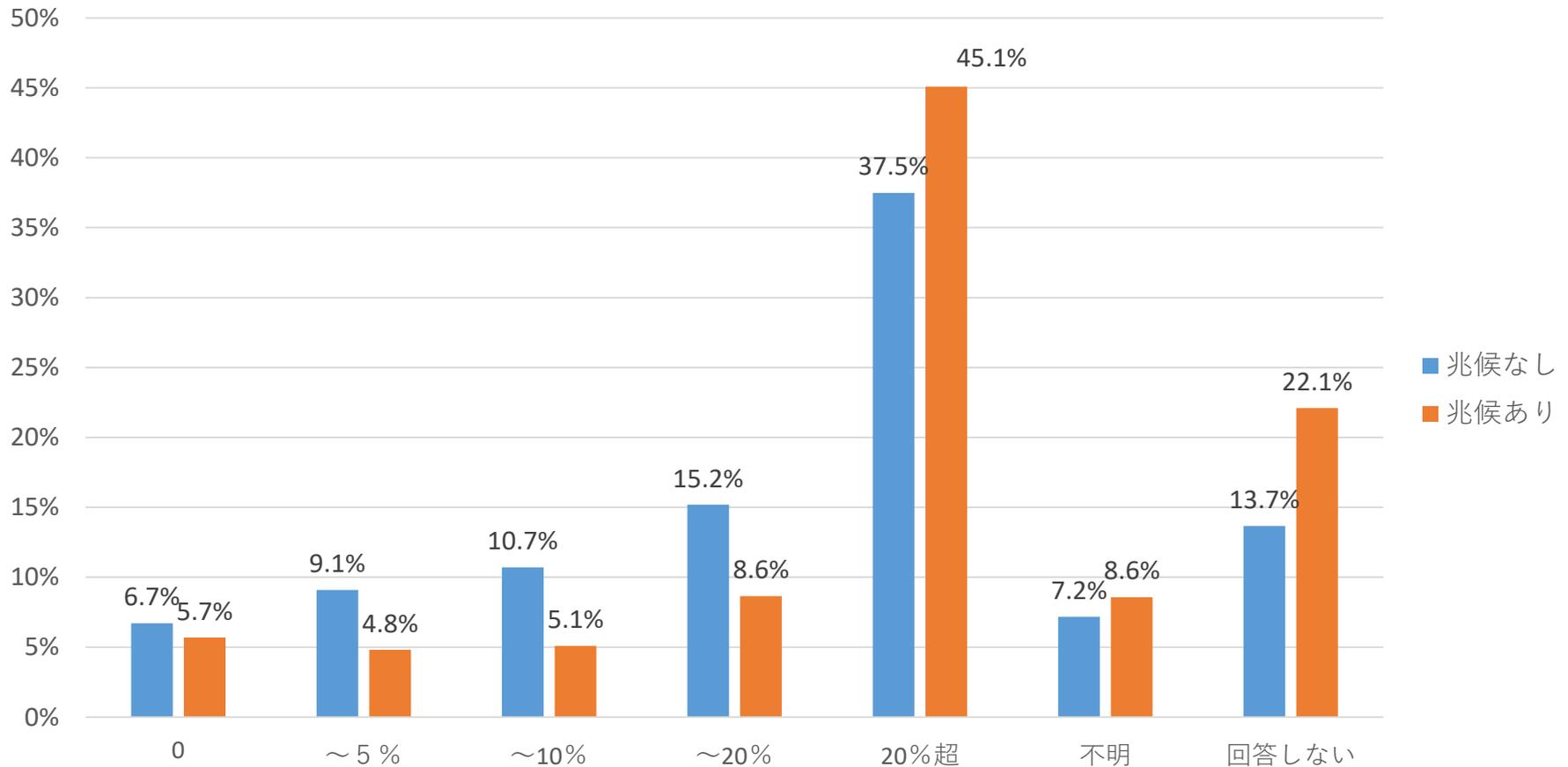
【空き住戸の割合】



適正な維持管理に関する事項【兆候別】

・ 賃貸化率20%超では、兆候ありのほうが兆候なしより高い

【賃貸化割合】



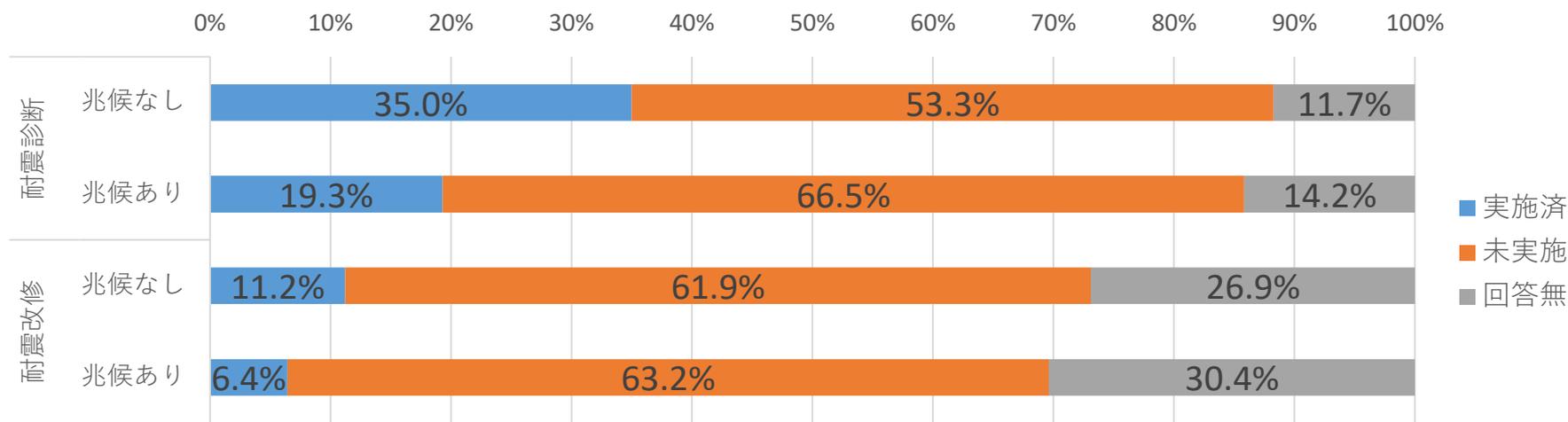
適正な維持管理に関する事項【兆候別】

- ・耐震の項目では無と回答したマンションが多い。
- ・耐震診断、耐震改修については兆候ありのほうが実施している割合が低い

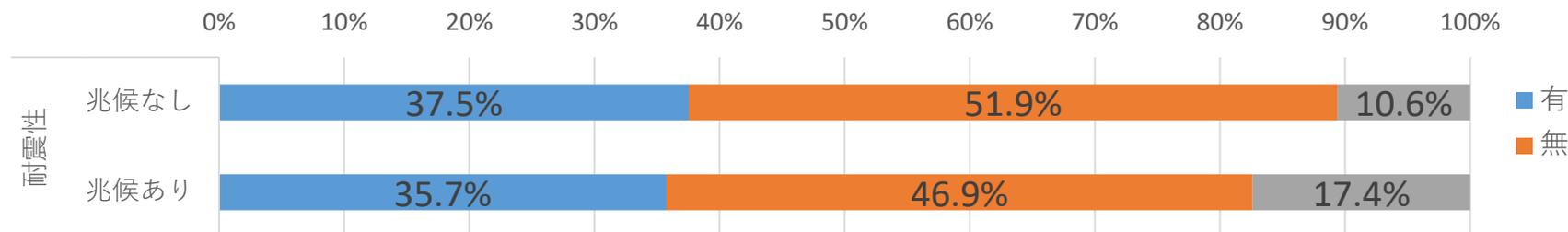
【旧耐震基準マンションにおける耐震化への取組状況】

新築年月日が1981年5月31日以前のマンションを集計

兆候なし n=5,391
兆候あり n=1,073



耐震診断「実施済」と回答したマンションの耐震性の有無

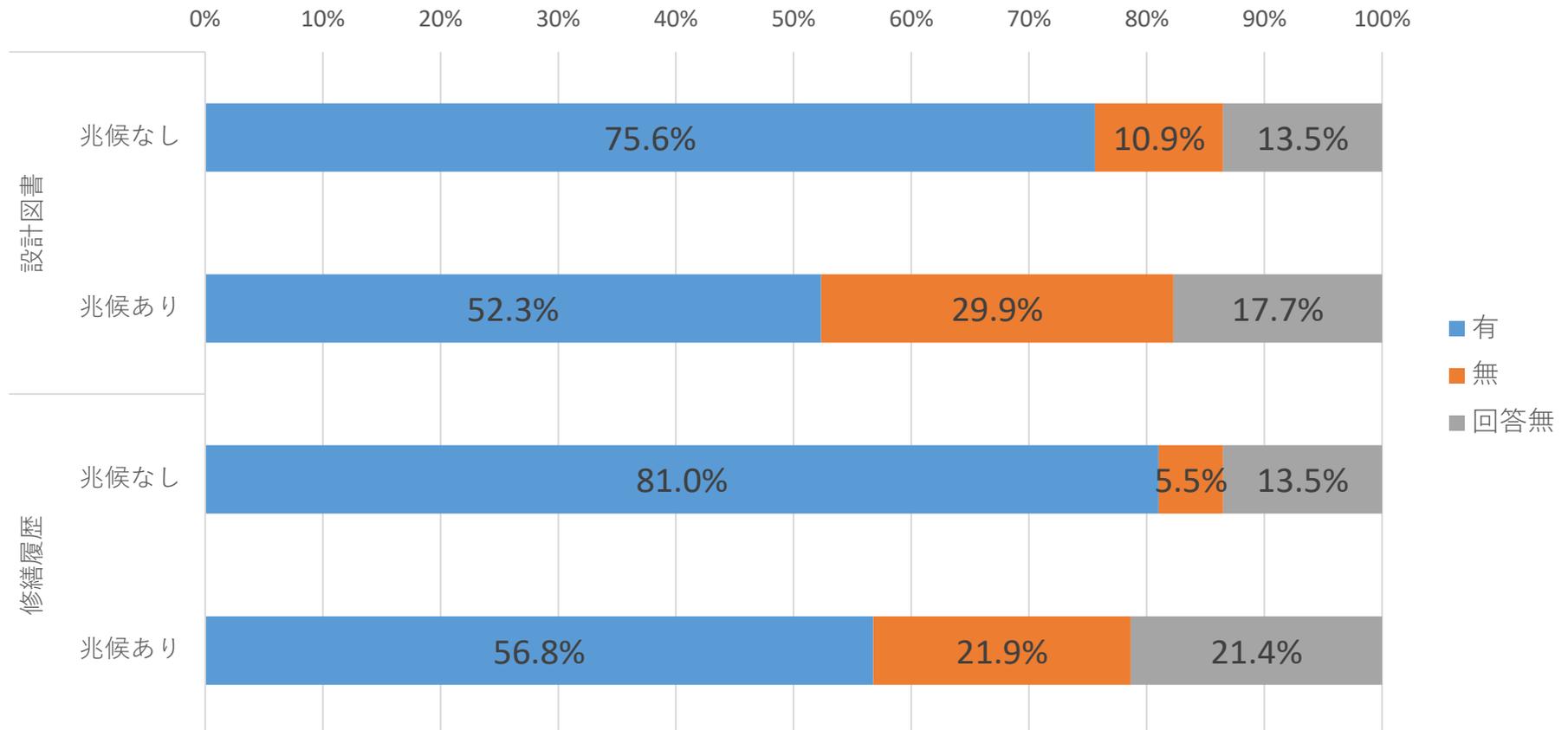


※耐震診断が「実施済」の場合に任意回答（兆候なし n=1,886 兆候あり n=207）

適正な維持管理に関する事項【兆候別】

- ・ 設計図書及び修繕履歴の有無については、兆候ありのマンションのうち7～8割が有としている。
- ・ 兆候なしのマンションは半数程度

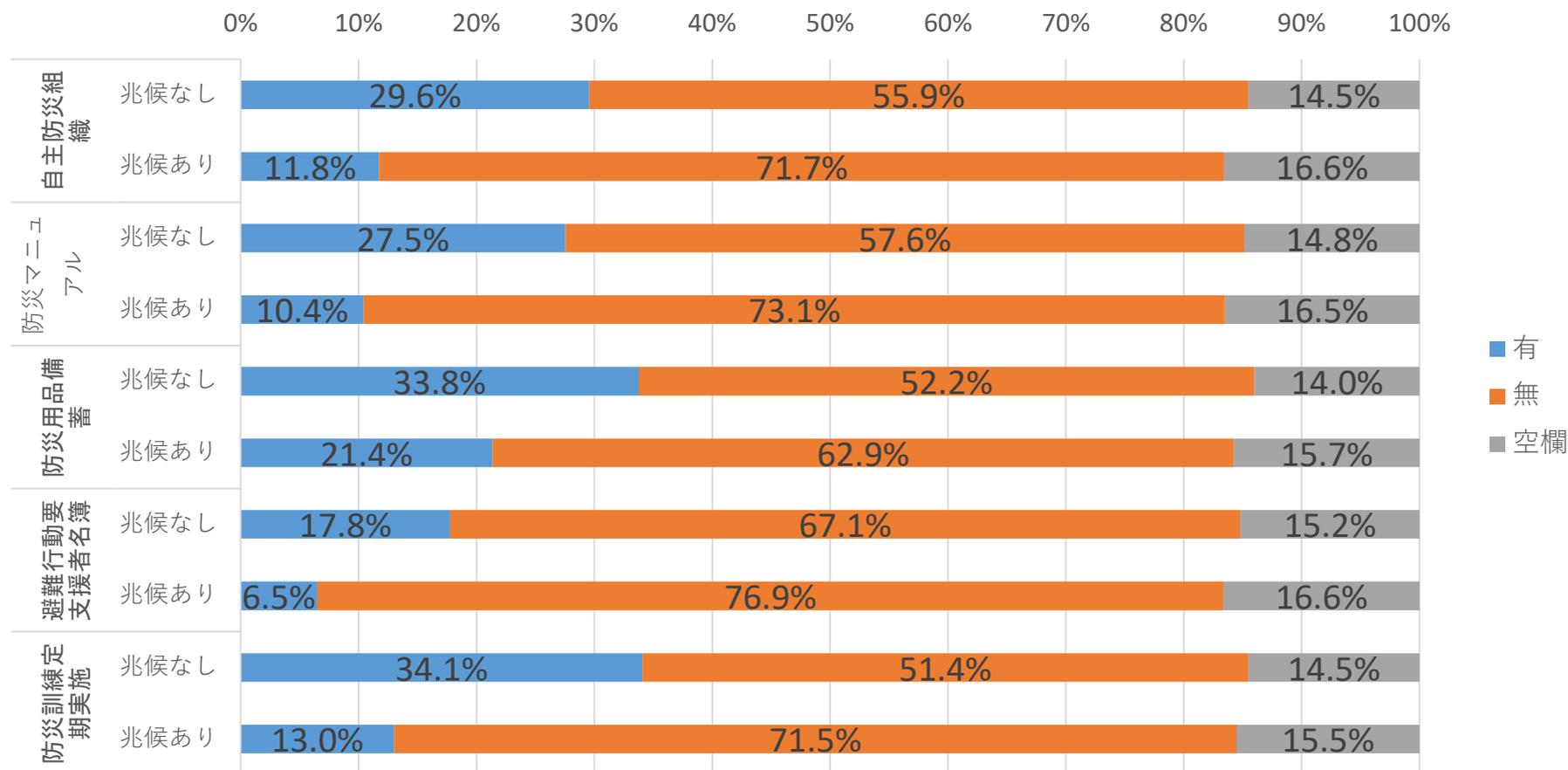
【設計図書・修繕履歴の有無】



マンションの社会的機能の向上に資する取組に関する事項【兆候別】

- ・ 防災の項目では無と回答したマンションが多い
- ・ 兆候なしの有の割合が高い

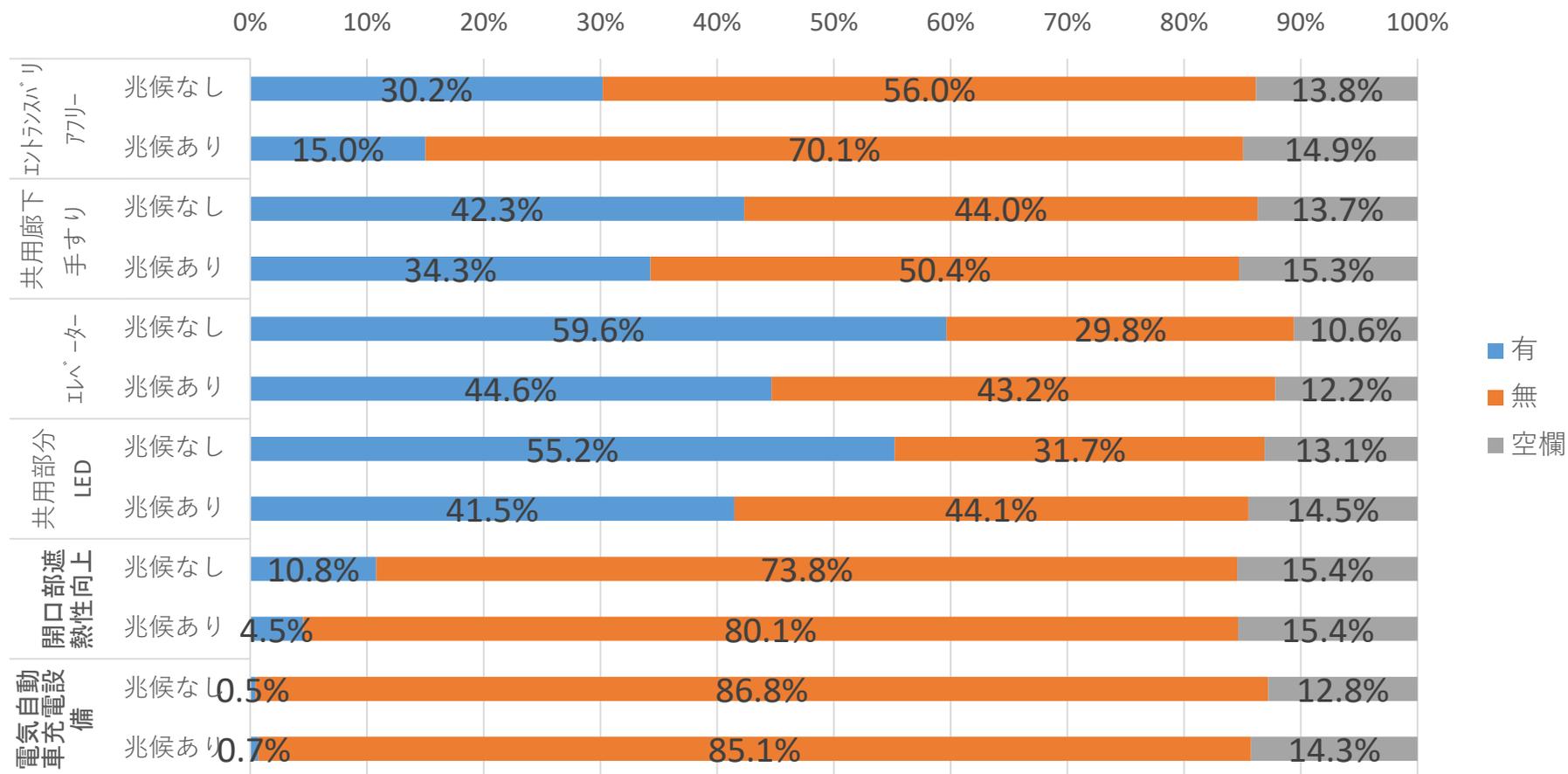
【防災への取組】



マンションの社会的機能の向上に資する取組に関する事項【兆候別】

・ いずれの取組又は実施についても、兆候なしのほうが高い

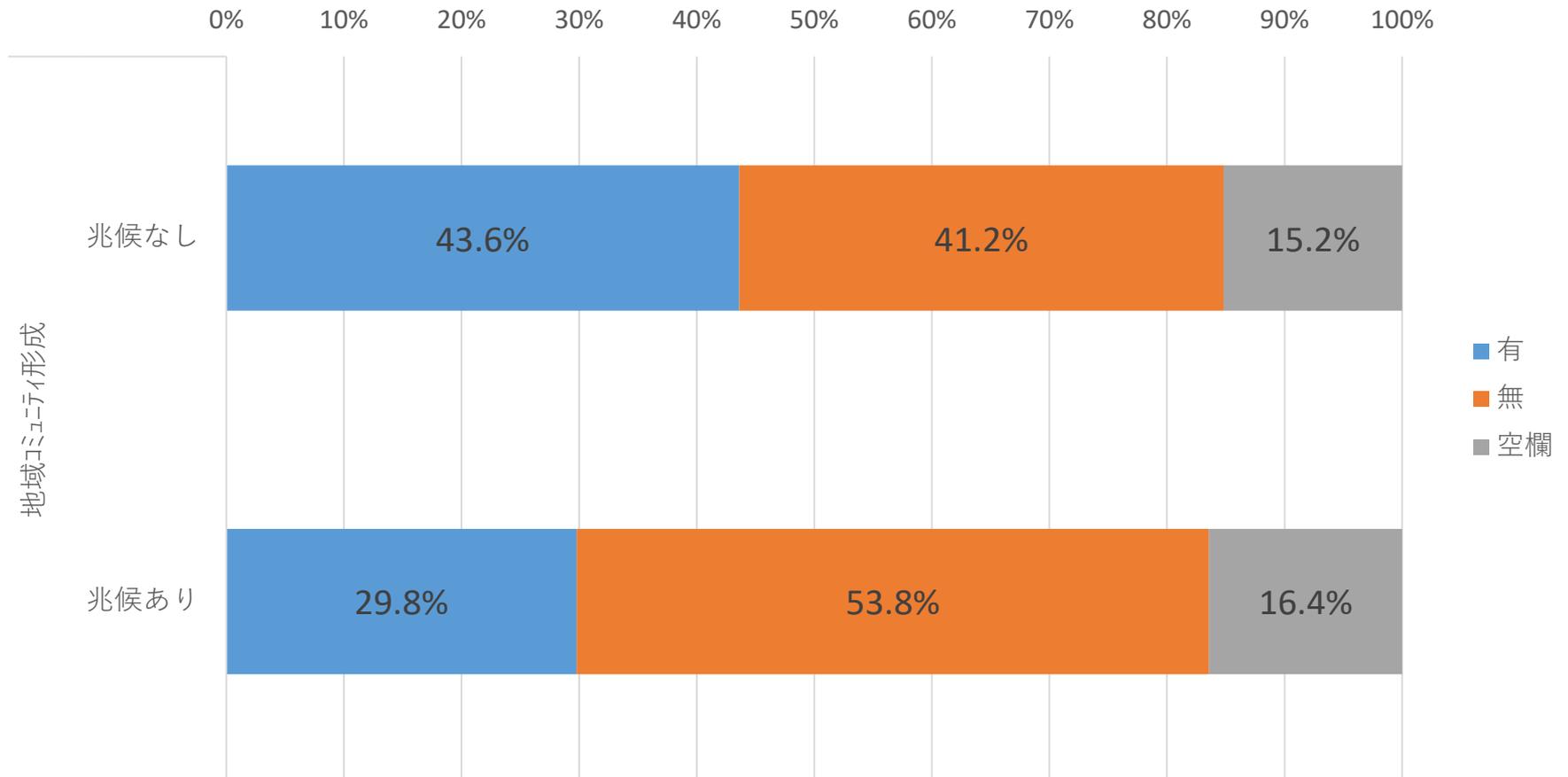
【バリアフリー化・環境への取組又は実施】



マンションの社会的機能の向上に資する取組に関する事項【兆候別】

- ・兆候なしのほうが、地域コミュニティ形成等（例：町会・自治会との共催事業・協力連携イベント（祭り・運動会・防災訓練・清掃活動等））の取組のポイントが高い

【地域コミュニティの形成等の取組】



連絡先【兆候別】

- ・兆候なしではマンション管理業者が67.9%、管理組合理事長が21.7%
- ・兆候ありではマンション管理業者が37.3%、管理組合理事長が25.3%、区分所有者等が20.2%

【連絡窓口】

